

平成17年6月分電力需給状況

需要の概要

平成17年6月の販売電力量は、21億8千5百万kWh時、前年比 102.9%となった。(18か月連続のプラス)

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年比 101.9%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用」は、6月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる冷房需要の増加などから、前年比 104.9%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、鉄鋼、機械における生産増などから、前年比 104.0%となった。

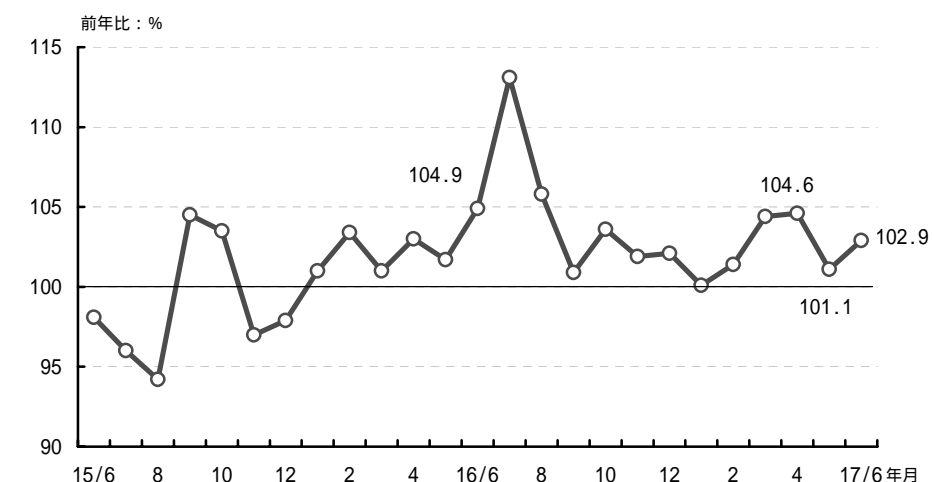
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	618	101.9
	電 力	161	99.4
	計	779	101.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	526	104.9
	産業用電力	880	103.1
	うち大口電力	(663)	(104.0)
	計	1,406	103.8
販売電力量 計		2,185	102.9
融 通		662	96.8

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
 2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
 前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		17/6月	17/5月	17/4月
紙・パルプ	114	107.8	105.2	106.4
化 学	141	105.5	105.3	105.0
鉄 鋼	85	105.0	105.8	100.2
機 械	138	104.9	103.3	105.7
そ の 他	185	99.8	101.7	97.4
合 計	663	104.0	104.0	102.6

(参考2) 4県都平均気温

	17/5月				17/6月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	19.1	19.1	20.5	19.6	22.7	24.4	26.6	24.5
平年差	1.4	0.4	0.6	0.8	1.2	1.9	3.1	2.0
前年差	0.6	0.8	1.5	1.0	0.1	0.9	1.4	0.7

供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により 前年比 136.5%
- 水力は、湯水により 前年比 37.3%
- 火力は、水力発電電力量が減少したものの、原子力発電電力量が増加したことなどから 前年比 95.0% となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(46)	1,478	136.5	出水率 28.6% (16年6月出水率 111.5%)
水 力	(5)	160	37.3	
火 力	(49)	1,559	95.0	
発受電計	(100)	3,197	101.4	
その他		52		
供 給 計		3,145	100.4	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(103.6) 512	(100.0) 359	(103.2) 751	(103.8) 563

注.()内は前年比